

名張市男女共同参画社会づくりに関する
事業所アンケート調査報告書

平成27年9月

名 張 市

I 調査の概要

1. 調査目的

名張市では、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。この調査は、事業所における男女共同参画に関する状況を把握するとともに、事業所としての意見を聴取し、今後の男女共同参画施策推進の基礎資料とし、施策に反映させることを目的とします。

2. 調査対象

名張市内の事業所のうち、名張市人権・同和教育推進協議会企業部会加盟企業・事業所

3. 調査方法及び実施期間

配布：平成26年9月下旬に郵送

回収：企業・事業所訪問により回収または、返信用封筒により郵送回収
平成26年10月31日まで

4. 回収状況

| | |
|--------|--------|
| 配布事業所数 | 158事業所 |
| 回収数 | 82事業所 |
| 回収率 | 51.9% |

5. 調査内容

- (1) 事業所の概要について
- (2) 女性の積極的活用の取り組みについて
- (3) 育児や介護との両立支援について
- (4) 男女が共に働きやすい環境づくりについて

6. 調査結果の表示方法

(1) 集計結果の%表示は、小数点第2位以下を四捨五入していますので、内訳の合計が100%にならない場合があります。

(2) 複数回答の設問の場合、各設問の有効回答数(N)を基数として回答比率の算出をしています。

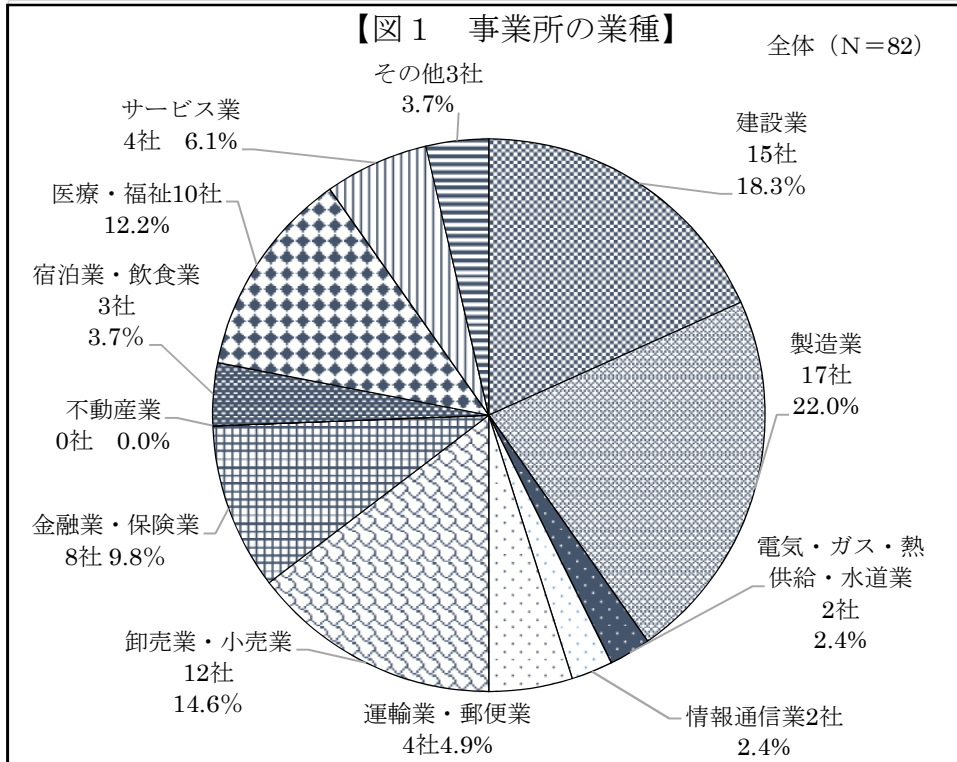
※回答比率(%) = 回答数 / N × 100

(3) グラフ中の選択肢の記述については、実際の選択肢を簡略化している場合があります。

II 調査の結果

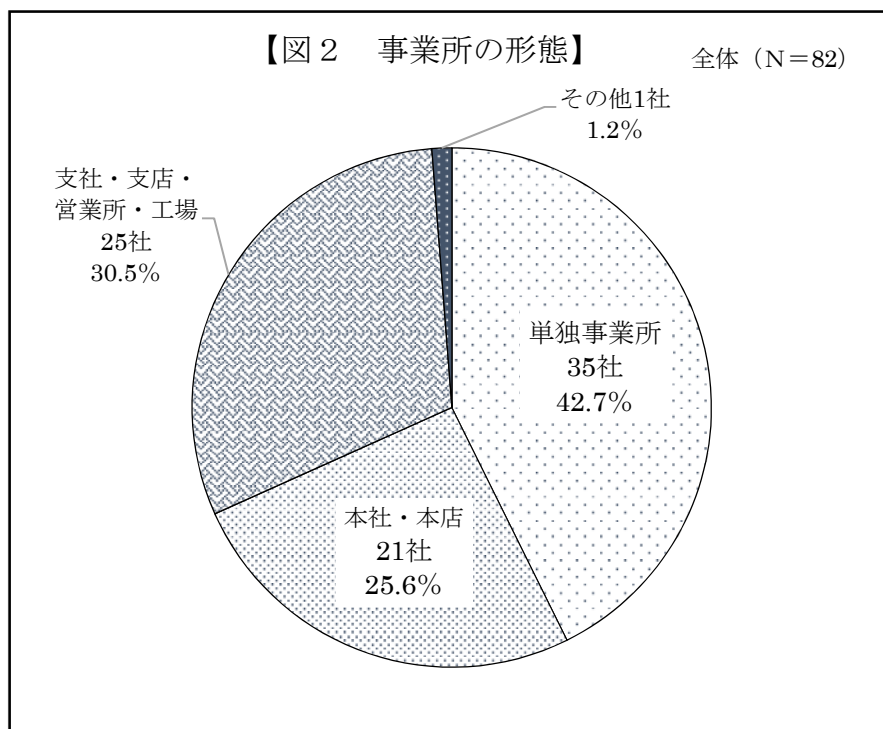
1. 事業所の概要について

問1 貴事業所の主な業種は何ですか。



業種については、「製造業」が22.0%と最も多く、次いで「建設業」が18.3%、「卸売業・小売業」が14.6%となっています。

問2 貴事業所の形態についてご回答ください。(平成26年4月1日現在)



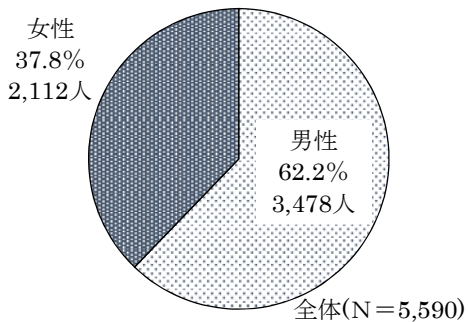
事業所の形態については、「単独事業所」が42.7%と最も多く、次いで、「支社・支店・営業所・工場」が30.5%、「本社・本店」が25.6%となっています。

問3 貴事業所の雇用状況と管理職数についてご回答ください。(平成26年4月1日現在)

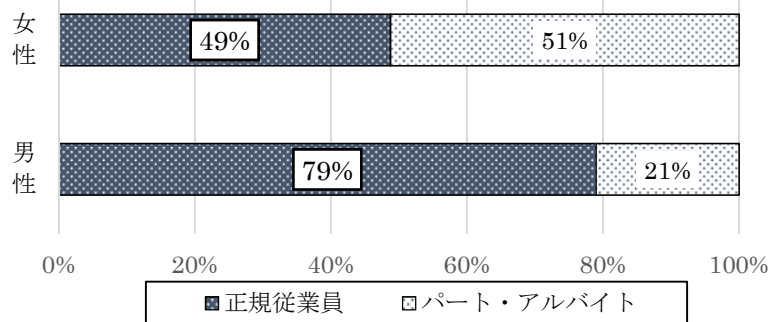
(回答総数)

| 区分 | 正規従業員 | 非正規従業員 (パート・アルバイト・ 嘱託・契約社員・派遣社員等) | 計 | 管理職 |
|----|--------|---|--------|-------------------------|
| | | | | (配下の従業員を指揮・監督する立場にある役職) |
| 男性 | 2,746人 | 732人 | 3,478人 | 522人 |
| 女性 | 1,030人 | 1,082人 | 2,112人 | 96人 |
| 合計 | 3,776人 | 1,814人 | 5,590人 | 618人 |

【図3 従業員の男女構成比】



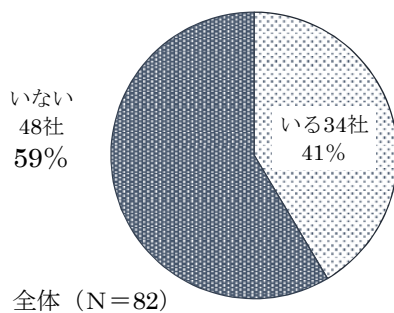
【図4 男女の雇用形態別構成比】



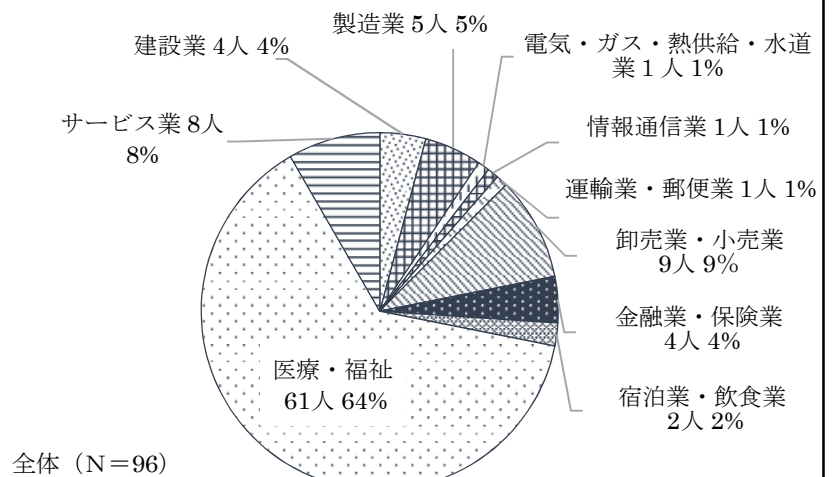
従業員の男女構成比では、男性従業員が62.2%を占めています。

また、男女の雇用形態別構成比は、男性従業員の79%が正規従業員であるのに対し、女性従業員は49%でパート・アルバイト等、非正規従業員が半数を占めています。

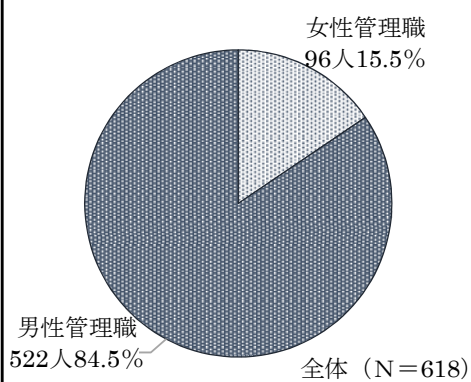
【図5 女性管理職の有無】



【図7 業種別の女性管理職数】



【図6 管理職の男女比】

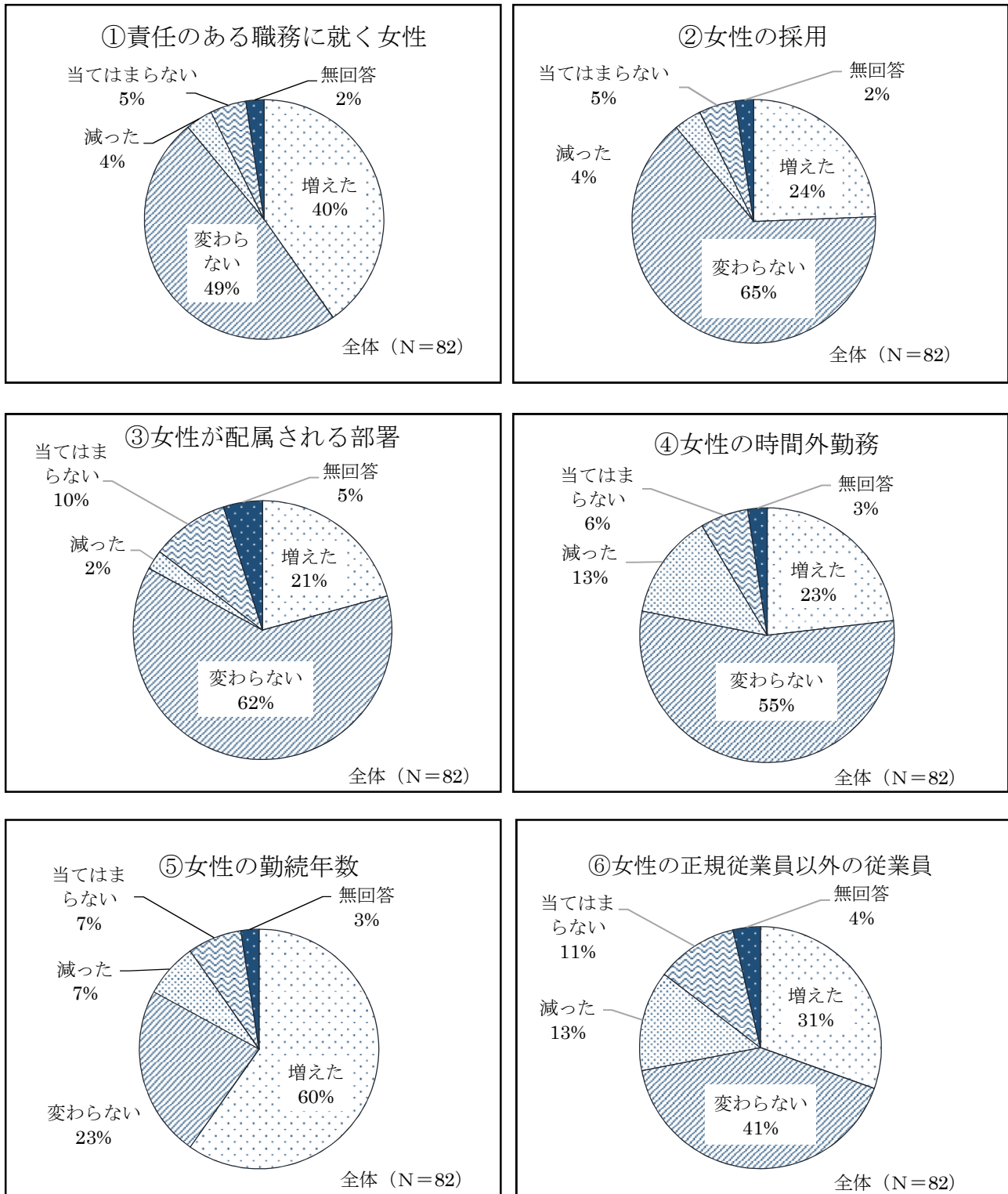


事業所における男女別管理職の人数については、女性管理職のいる事業所は34社で、41%を占めています。しかし、男女別の人数を比較すると、女性管理職の割合は15.5%で、管理職として働く人の8割以上は男性です。業種別では、「医療・福祉」で女性が管理職に就く割合が最も多く、約6割を占めています。

2. 女性の積極的活用の取り組みについて

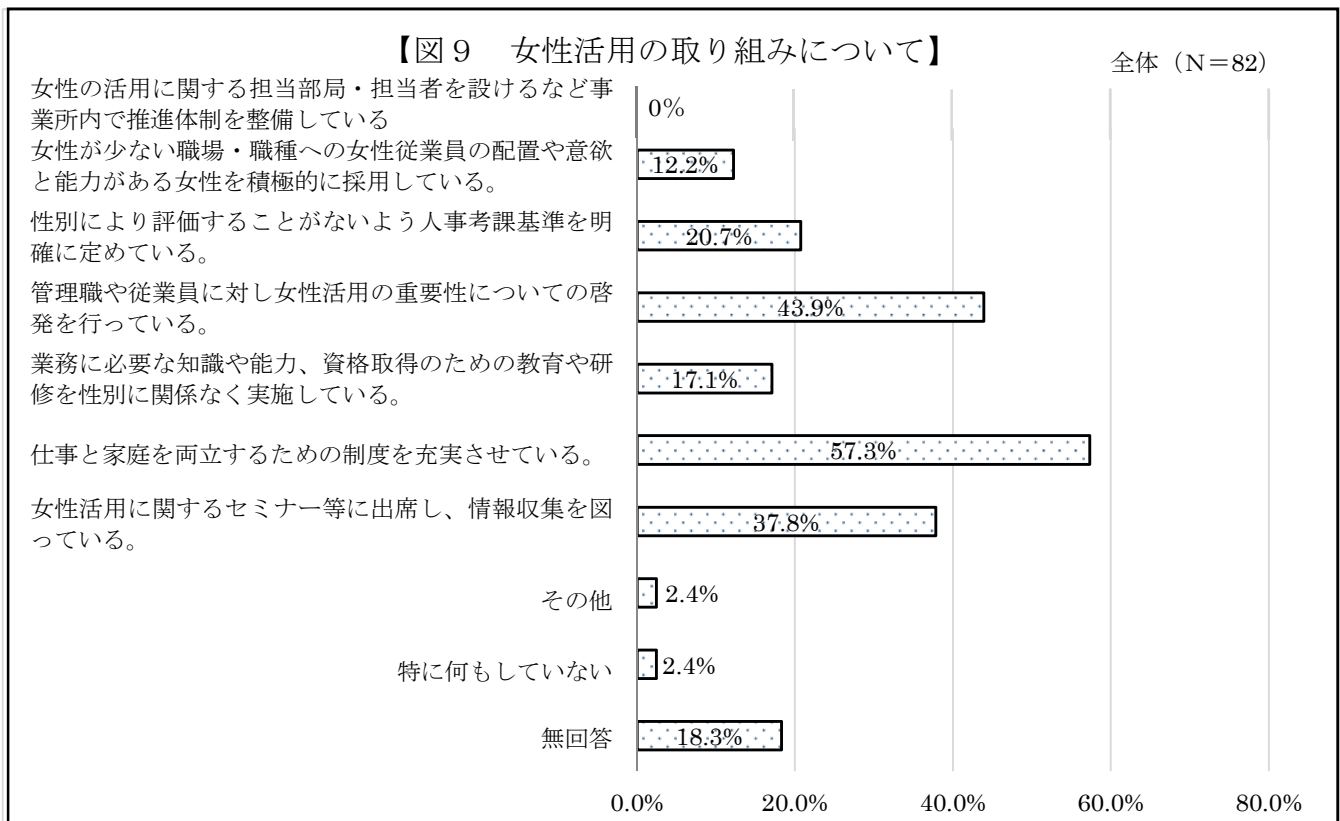
問4 貴事業所では、女性の雇用管理について10年前に比べてどのような変化があったと思いますか。

【図8 女性の雇用管理について】



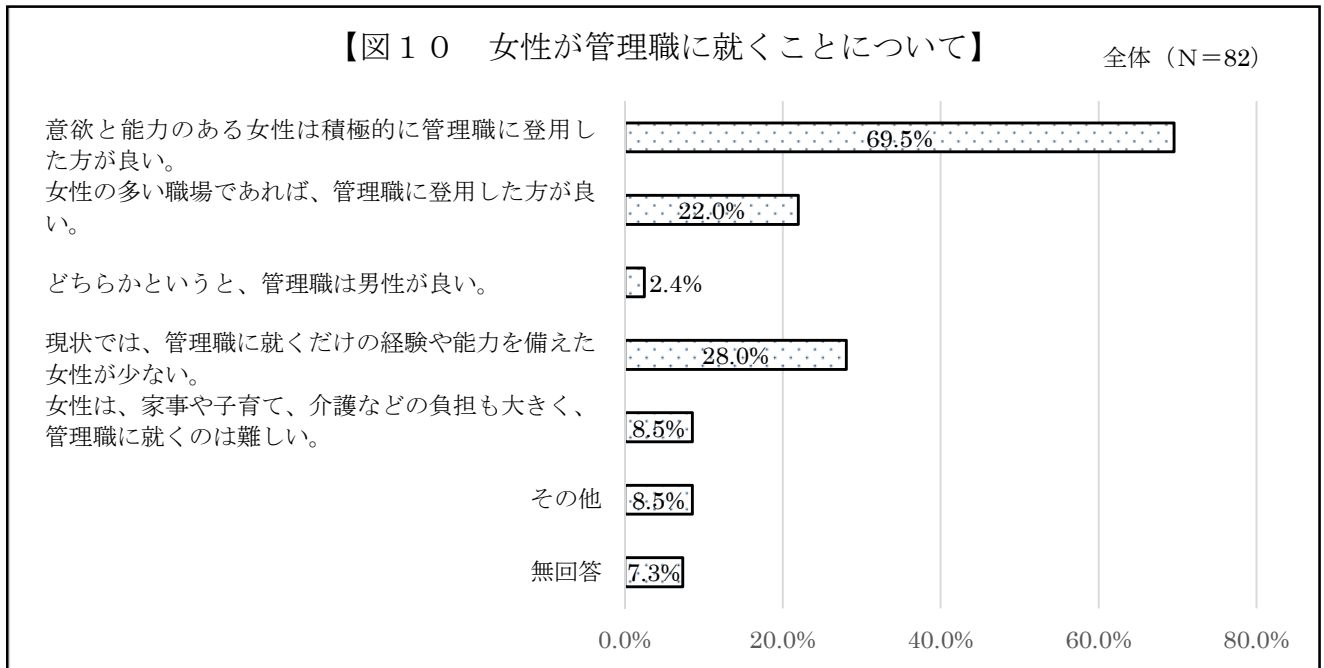
女性の雇用管理について、10年前と比べて「女性の勤続年数が増えた」が60%と一番高く、次いで「責任のある職務に就く女性が増えた」が40%、「女性の正規従業員以外の従業員が増えた」が31%となっています。一方、変わらないと回答したのは、「女性の採用」が65%で一番高く、次いで「女性が配属される部署」が62%、「女性の時間外勤務」が55%となっています。

問5 貴事業所では、女性を積極的に活用するため、何か取り組んでいることはありますか
(複数回答)



女性を積極的に活用するための取り組みとして、「仕事と家庭を両立するための制度を充実させている」が57.3%と一番高く、次いで「管理職や従業員に対し女性活用の重要性についての啓発を行っている」が43.9%、「女性活用に関するセミナー等に参加し、情報収集を図っている」が37.8%となっています。一方で「特に何もしていない」と回答した事業所は、2.4%となっています。

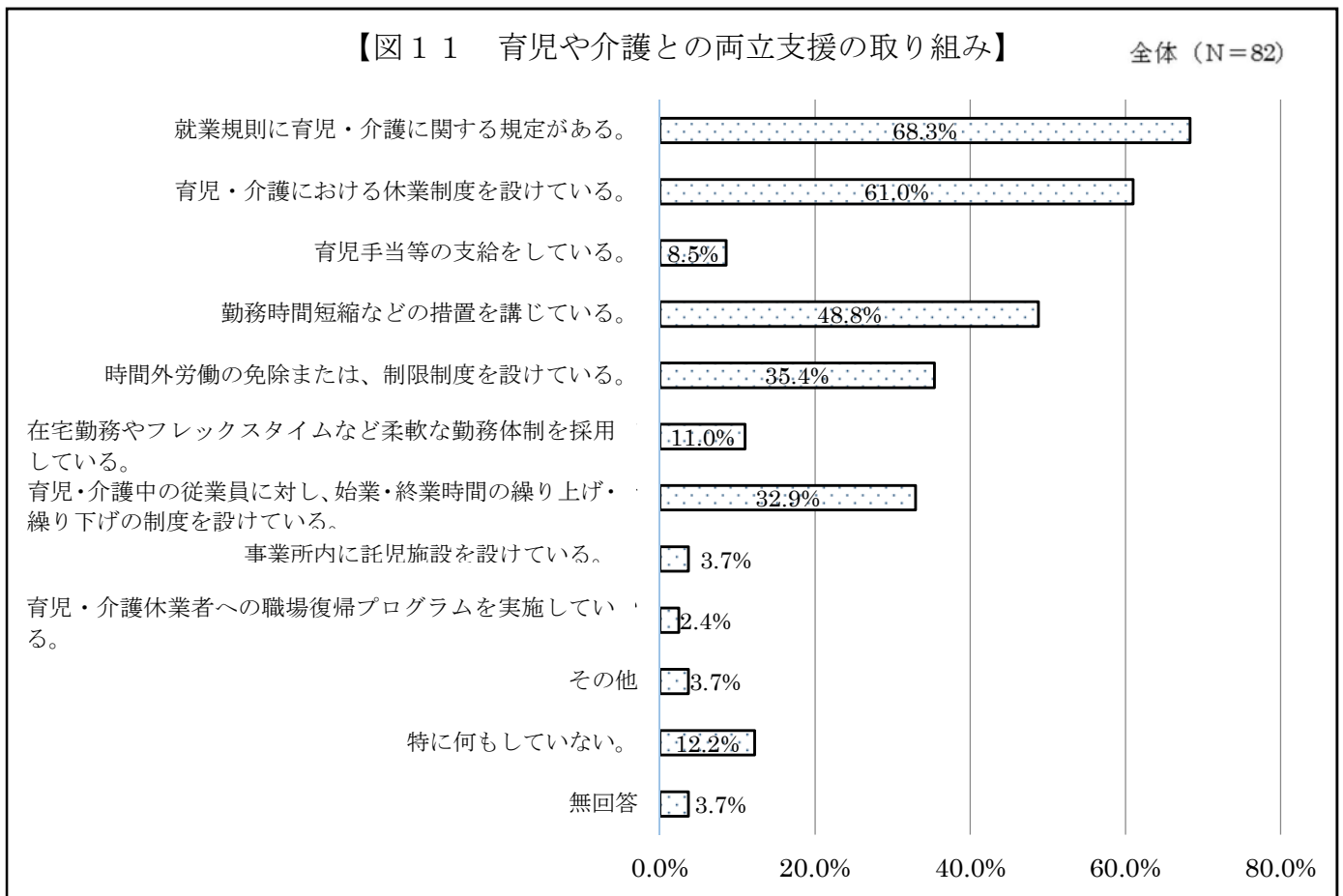
問6 貴事業所では、女性が管理職に就くことについてどのように考えていますか。
(複数回答)



女性が管理職に就くことについての考え方について、69.5%が「意欲と能力のある女性は、積極的に管理職に登用した方がよい」と答えています。一方で、28%が「現状では、管理職に就くだけの経験や能力を備えた女性が少ない」と回答しています。

3. 育児や介護との両立支援について

問7 貴事業所では、男女が共に育児・介護をしながら働くことについて、何か取り組んでいることはありますか。(複数回答)



男女が共に育児・介護をしながら働くことへの取り組みとして、「就業規則に育児・介護に関する規定がある」が68.3%と一番高く、次いで「育児・介護における休業制度を設けている」が61.0%、「勤務時間短縮などの措置を講じている」が48.8%となっています。一方、「特に何もしていない」と回答した事業所は、12.2%となっています。

問8 育児休業取得状況について、男女別にお答えください。

育児休業取得状況

| | | | |
|-----------------------|------|-------------------|-------|
| 平成25年度中に配偶者が出産した男性従業員 | 91人 | 平成25年度中に出産した女性従業員 | 38人 |
| うち取得した男性従業員 | 1人 | うち取得した女性従業員 | 33人 |
| 取得率 | 1.1% | 取得率 | 86.8% |

平成25年度中の育児休業取得状況について聞いたところ、出産した女性従業員のうち86.8%が育児休業を取得しています。配偶者が出産した男性従業員で育児休業を取得したのは1人で、取得率は1.1%にとどまっています。

問9 介護休業取得状況について、男女別にお答えください。

介護休暇取得状況

| | 男性 | 女性 |
|----------------------|----|----|
| 平成25年度中に介護休業を取得した従業員 | 3人 | 5人 |

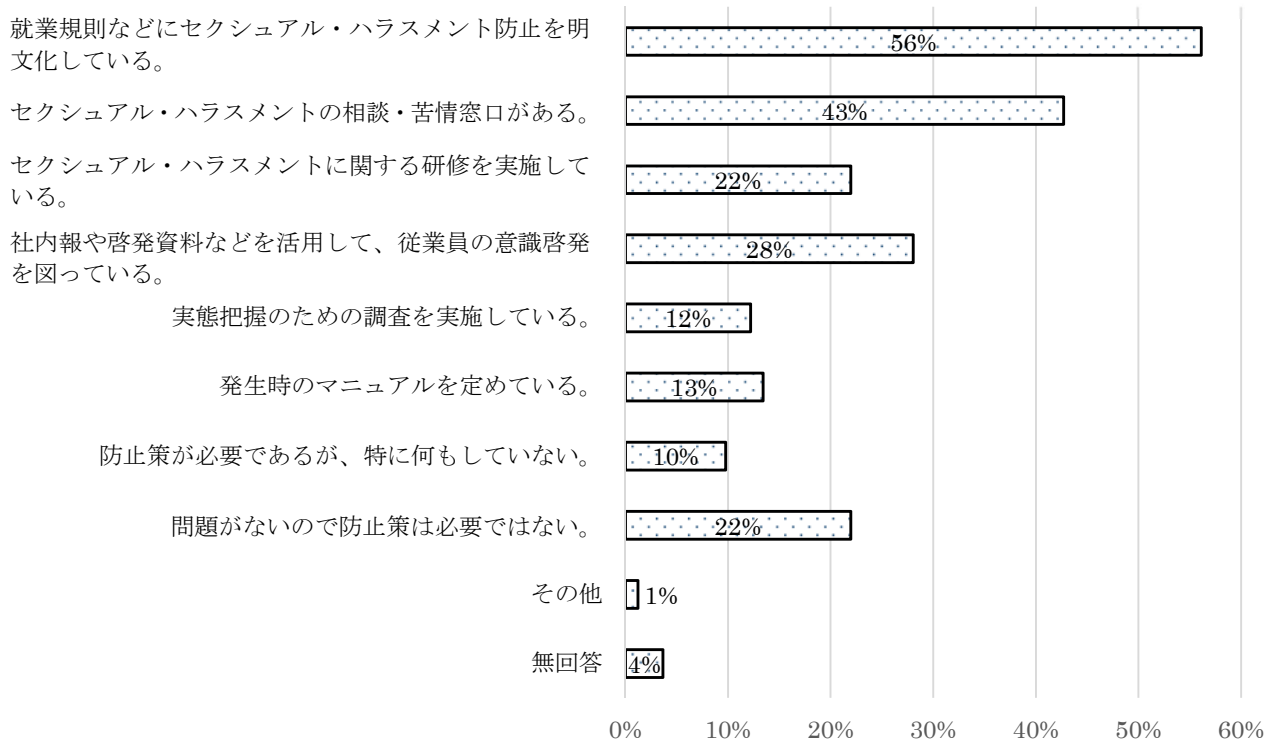
平成25年度中の介護休業取得状況について聞いたところ、男性が3人、女性が5人、介護休業を取得したと回答しています。

4. 男女が共に働きやすい環境づくりについて

問10 貴事業所では、セクシュアル・ハラスメントを防止するために、何か取り組んでいることはありますか。(複数回答)

【図12 セクシュアル・ハラスメントを防止する取り組みについて】

全体 (N=82)

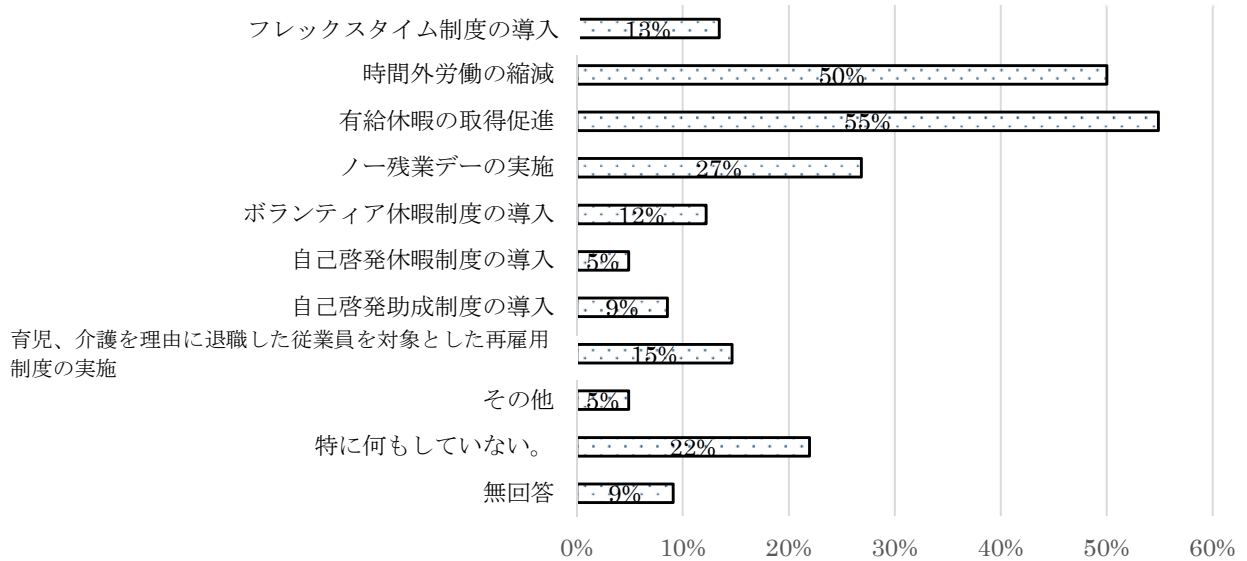


セクシュアル・ハラスメントを防止する取り組みとしては、「就業規則などにセクシュアル・ハラスメント防止を明文化している」が56%と一番高く、次いで「セクシュアル・ハラスメントの相談窓口がある」の43%となっています。一方、「防止策は必要であるが、何もしていない」は10%、「問題がないので防止策は必要ない」が22%となっています。

問 1 1 貴事業所では、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に配慮して、何か取り組んでいることはありますか。（複数回答）

【図 1 3 仕事と生活の調和に配慮した取り組みについて】

全体（N=82）



仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に配慮した取り組みとしては、「有給休暇の取得促進」が 55%と一番高く、次いで「時間外労働の縮減」が 50%となっています。一方、「特に何もしていない」と回答した事業所は、22%でした。